

## 単元構想版「ICT を活用したまなび」授業実践

教科・科目	外国語 ・ 論理・表現 I	学年	高校1年
単元名 (教材名)	Lesson 4 Have you ever tried it before? (啓林館『Standard Vision Quest English Logic and Expression I』)		
単元の 目標	自分の経験について、現在完了形や過去完了形を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができる。		

時	学習活動	ICT 活用
①	<p>現在完了形を使って、自分の経験を3文程度の英文で伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対話を使った教師のモデルを見る。</li> <li>・現在完了形の用法を理解する。</li> <li>・現在完了形を使って簡単な会話をペアで行う。</li> <li>・現在完了形を使って「行ったことがある場所」について3文程度で書く。</li> <li>・書いた英文をグループで共有し、英語でコメントや感想を伝える。</li> <li>・書いた英文をクラスで共有し、現在完了形や英文の構成について確認する。</li> </ul>	<p>①【電子黒板】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ALTと日本人教員による対話のモデル動画を提示する。</li> <li>・図(教科書参照)を提示して現在完了形のイメージを伝える。(書き込んだ図は電子黒板に保存しておく。)</li> </ul> <p>①【学習者用端末】スプレッドシート(共同編集)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在完了形を使って英文を3文程度書く。</li> <li>・グループでファイルを共有し、コメント機能を使って互いに感想を記入する。</li> </ul>
②	<p>過去完了形を使って、自分の経験を3文以上の英文で伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対話を使った教師のモデルを見る。</li> <li>・過去完了形の用法を理解する。(現在完了形との違いを理解する。)</li> <li>・過去完了形を使って簡単な会話をペアで行う。</li> <li>・過去完了形を使って「初めて何かを体験した時のこと」について3文以上で書く。</li> <li>・書いた英文をグループで共有し、英語でコメントや感想を伝える。</li> </ul>	<p>①【電子黒板】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の英文を提示し、必要に応じて修正や書き込みをしながらフィードバックをする。</li> </ul> <p>②【電子黒板】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ALTと日本人教員の対話のモデル動画を提示する。</li> <li>・図(教科書参照)を提示して過去完了形のイメージを伝える。(前時で使用した図も提示する。)</li> </ul> <p>②【学習者用端末】スプレッドシート(共同編集)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・過去完了形を使って英文を3文以上書く。</li> <li>・グループでファイルを共有し、コメント機能を使って互いに感想を記入する。</li> </ul>

<p>・書いた英文をクラスで共有し、過去完了形や英文の構成について確認する。</p> <p>③ 現在完了形・過去完了形を使って、「自分の経験や継続していること」について、まとめた文章を論理・構成に注意して書く。</p> <p>・前時・前々時の復習を行い、文章に用いる表現を確認する。</p> <p>・文章のモデルを読む。</p> <p>・文章の構成や論理的な文章にするために有効な表現を全体で確認する。</p> <p>・各自でメモ作成の後、文章を書く。</p> <p>・書いた文章をペアで共有し、コメントや助言を伝える。</p> <p>・助言を基に、加筆・修正を行い、提出する。</p> <p>・書いた文章をクラスで共有する。</p> <p>・振り返り、まとめを行う。</p>	<p>②【電子黒板】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の英文を提示し、必要に応じて修正や書き込みをしながらフィードバックをする。</li> </ul> <p>③【電子黒板】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前々時・前時に使用した図を提示する。</li> </ul> <p>③【電子黒板】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章のモデルを提示し、書き込みをしながら、文章の構成などを確認する。</li> </ul> <p>③【学習者用端末】ドキュメント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メモ作成の後、英文を書く。</li> <li>・ペアで共有し、コメント機能を使ってコメントや助言を行う。</li> <li>・文章の加筆・修正を行い、提出する。</li> </ul> <p>③【電子黒板】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の文章を提示し、必要に応じて書き込みをしながらフィードバックをする。</li> <li>・現在完了形・過去完了形のイメージ図を再度提示する。</li> </ul>
--	---

備 考
<p>○生徒が書く内容や構成、量は、学校やクラスの実状に応じてある程度統一しながら、個々のレベルに合わせて柔軟に変えることも可能である。</p> <p>○生徒の英文の共有は、クラスの実状に応じて、ペア・グループ・クラス全体で行う。</p> <p>○学習者用端末を使用して英文を書き、提出させることで、教員によるフィードバックの後、生徒が何度でも加筆・修正をしてよりよい文章に仕上げるのが容易になる。</p> <p>○現在完了形や過去完了形の用法以外の文法・語法については、文章の構成や流れを妨げるものでなければ、必要以上に訂正をせずに、書く・伝える意欲を育てることが大切である。</p>

作成【 奈良県立教育研究所 】